

みずほCustomer Desk Report 2022/04/01号 (As of 2022/03/31)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	122.41
TKY 9:00AM	122.04	1.1161	136.22	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	122.45	1.1185	136.84	1.3137	0.7501
SYD-NY Low	121.28	1.1061	134.53	1.3176	0.7528
NY 5:00 PM	121.68	1.1067	134.76	1.3107	0.7471
NY DOW	34,678.35	▲ 550.46	日本2年債	-0.0400	0.00bp
NASDAQ	14,220.52	▲ 221.76	日本10年債	0.2100	0.00bp
S&P	4,530.41	▲ 72.04	米国2年債	2.3336	2.22bp
日経平均	27,821.43	▲ 205.82	米国5年債	2.4633	2.25bp
TOPIX	1,946.40	▲ 21.20	米国10年債	2.3443	▲1.18bp
シカゴ日経先物	27,805.00	▲ 575.00	独10年債	0.5440	▲11.25bp
ロンドンFT	7,515.68	▲ 63.07	英10年債	1.6045	▲5.80bp
DAX	14,414.75	▲ 191.30	豪10年債	2.7700	▲1.90bp
ハンセン指数	21,996.85	▲ 235.18	USDJPY 1M Vol	9.25	▲0.32%
上海総合	3,252.20	▲ 14.39	USDJPY 3M Vol	8.63	▲0.10%
NY金	1,954.00	15.00	USDJPY 6M Vol	8.40	▲0.03%
WTI	100.28	▲ 7.54	USDJPY 1M 25RR	-0.08	Yen Call Over
CRB指数	295.183	▲ 6.13	EURJPY 3M Vol	9.88	0.14%
ドルインデックス	98.31	0.52	EURJPY 6M Vol	9.65	0.10%

【昨日の指標等】

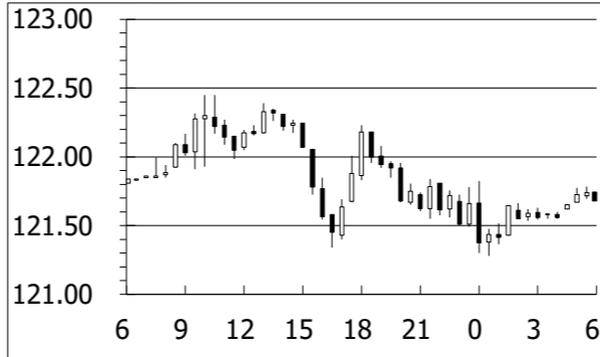
Date	Time	Event	結果	予想
3月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	2月 0.1%/0.2%	0.5%/0.8%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	3月 1.4%/4.5%	1.3%/4.3%
	17:00	欧 レーンECB理事 講演	-	「いずれの方向にも政策動かす準備必要」
	21:30	米 個人所得/個人支出	2月 0.5%/0.2%	0.5%/0.5%
	21:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	2月 0.6%/6.4%	0.6%/6.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	26-Mar 202k	196k

【本日の予定】

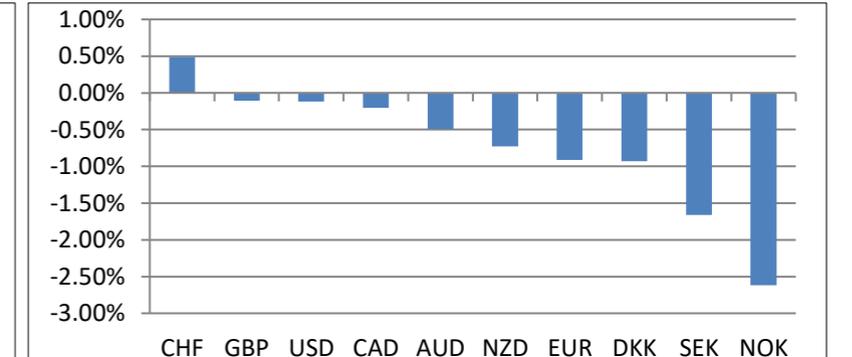
Date	Time	Event	予想	前回
4月1日	18:00	欧 CPI速報値(前年比)	3月 6.7%	5.8%
	18:00	欧 CPI(前月比)・速報	3月 1.8%	0.9%
	18:00	欧 コアCPI・速報	3月 3.1%	2.7%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 490k	678k
	21:30	米 失業率	3月 3.7%	3.8%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.4%/5.5%	0%/5.1%
	22:05	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ISM製造業景況指数	3月 59	58.6

東京	東京時間のドル円は122.04レベルでオープン。本邦の年度末に伴う実需のドル買いから仲値にかけて122.45を付けるも、その後は日経平均株価が終始マイナス圏で推移していることもあり上値重く、レンジでの推移となった。終盤にかけては、米金利の低下を横目にドル円もじり安となり、121.78レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、121.78レベルでオープン。122円を挟んで大きく乱高下した。朝方は一本調子で121.34まで売られる。しかし日銀の積極的な国債購入計画のヘッドラインで今度は再び122.23に買い戻される。その後はもみ合いながら値を下げ121.63レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日ヒポットレベルと意識されている122.50を下回ってクロスしたことや、月末、期末のフローか、債券市場で買いが強まり、米金利が低下する展開を受け軟調なドル円は、121.34まで下落するがその後はややドルが買い戻され121.63レベルでNYオープン。朝方は、2月個人支出が予想を下回ったものの、前回分が上方修正され、PCEコアデフレ(前年比)も予想を若干下回ったが予想範囲内でドル円の反応は限定的となり狭いレンジでの推移が続く。ロンドンフィックスに掛けてドル売りが優勢となり、121.28まで下落するが、その後は下げ止まり、狭いレンジでの推移が続く。午後は、低下していた米金利が上昇する動きにドル買いが優勢となり、121.68レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、ドル売りに50日移動平均線が観測されている1.1180を抜け一時1.1185まで戻すが、1.12台へ乗せられず、その後はドルが買い戻される動きに1.1088まで反落し、1.1103レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、ブーテン大統領が天然ガス取引規定に関する大統領令に署名し、ルーブルで支払われない場合はガスの供給を止めることを発表したことから、ドイツなど欧州諸国はロシアからのガスの供給に頼っていることからユーロ売りが強まり、1.1068まで下落する。その後ロンドンフィックスに掛けてユーロ買いが強まり1.1133まで戻すが、ロンドンフィックスを通過するとユーロ売りが再び強まり、ユーロドルは1.11を下抜けする。午後は、ドル買いが優勢となり1.1061まで下落し、1.1067レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	121.00-122.50	1.090-1.112	133.50-135.50

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は本邦の年度末に伴う実需のドル買いから仲値にかけて122.45を付けるもその後は軟調な日経平均株価や米金利の低下を受け121円台後半で海外時間に渡った。海外時間に入り、ロンドンフィッシングやまちまちな米経済指標を消化すると121.30割れの水準まで下落。その後は米金利の持ち直しもあり反発し121.68でクローズ。
 本日のドル円は底堅い推移を予想する。本日の注目材料は雇用統計。米3月ADP雇用統計が堅調な結果となる中、失業率や平均時給の改善予想が見込まれており、強い結果となれば金利の上昇とともにドル円も堅調な推移を予想する。一方で、昨日は米政府による備蓄放出が正式決定し1バレル100ドル割れの水準まで原油が下落しており、新たな材料による原油相場下落に伴うドル円下落にも注意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。